

福井工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	環境都市工学設計製図Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0144		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	①First Stageシリーズ 建築製図入門、実教出版 ②日本建築学会：コンパクト設計資料集成、丸善						
担当教員	野々村 善民						
到達目標							
1. 集合住宅や複合施設の基本概念を理解し、建物全体の構造計画と設備計画ができること。 2. 計画原論を理解し、建築物の規模や場所性に相応しい配置・動線計画及びゾーニングを行うことができること。 3. 限られた時間内に図面を描き上げることができること。 4. エスキス、各図面(平面図・立面図・断面図等)の作成に取り組み、正確に仕上げると共にメ切までに完成できること。 5. 各自のコンセプトとそれをどのように図面で表現したかを発表し、質疑に対して応答できること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		到達目標に示すような、製図が描け、明解なプレゼンができること		到達目標に示すような、基本的な製図が描け、プレゼンができること		到達目標に示すような、基本的な製図が解けないこと。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RD1 JABEE JD3							
教育方法等							
概要		都市や地域の現状を把握・分析した上でテーマに沿った提案設計を行う。					
授業の進め方・方法		図面の模写を通じて、建築物の部材の寸法と組み立て方を理解する。 エスキスに加え、設計趣旨および技術提案書などを作成する。					
注意点		【学習・教育目標】 本科（準学士課程）：RB◎、RD 環境生産システム工学プログラム：JB, JD 【関連科目】 環境都市工学設計製図Ⅰ(本科2年)、環境都市工学設計製図Ⅱ(本科3年)、環境都市工学設計製図Ⅴ(本科5年)、建築計画Ⅰ(本科2年)、建築計画Ⅱ(本科3年)、建築史(本科5年)、建築意匠(本科5年) 【評価方法】最終成績は、前期（50%）、後期（50%）とする。また、各期の成績は、試験20%、提出物60%、プレゼンテーションを20%とする。設計コンペに応募するなど、学習意欲の高い取り組みに対しては、評価を高くする可能性がある。 【評価基準】成績評価で60%以上を合格とする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	集合住宅 ガイダンス 図面の模写①		ガイダンス、集合住宅の設計製図に関する課題を理解する。 各階平面図を作成する。		
		2週	図面の模写②		技術提案書を作成する。 各階平面図を作成する。		
		3週	図面の模写③		設計コンセプトを検討する。 立面図（北と東）を作成する。		
		4週	図面の模写④		集合住宅に関する構造計画、設備計画、計画原論を修得する。 断面図を作成する。		
		5週	SkecthUpの修得①		3D-CADによるコア部分（階段、EV、エントランスなど）を作成する。		
		6週	SkecthUpの修得②		エスキスを修正する。		
		7週	SkecthUpの修得③		エスキスを修正する。 ポスターを作成する。		
		8週	中間確認		90分間で製図を模写する。		
	2ndQ	9週	SkecthUpの修得④		ディテールを決定し、図面を作成する。		
		10週	図面作製①		設計コンセプトを再確認する。 図面（平面図、立面図、断面図、パース他）①を作成する。		
		11週	図面作製②		図面（平面図、立面図、断面図、パース他）②を作成する。		
		12週	図面作製③		図面（平面図、立面図、断面図、パース他）③を作成する。		
		13週	課題提出		プレゼンテーションの図面を作成する。 図面とプレゼン資料を提出する。		
		14週	3分間プレゼンテーション①		作品を発表する。 質疑応答に対応する。		
		15週	期末試験		90分間で製図を模写する。		
		16週	3分間プレゼンテーション②		作品を発表する。 質疑応答に対応する。		
後期	3rdQ	1週	複合施設 ガイダンス		複合施設の課題説明から周辺環境を把握する。 複合施設の役割と地域に与える影響を理解する。		
		2週	図面の模写①		配置図兼1階平面図を作成する。		
		3週	図面の模写②		2階平面図を作成する。		
		4週	図面の模写③		3階平面図を作成する。		

		5週	図面の模写④	断面図を作成する。
		6週	設計コンセプトと技術提案書の作成	複合施設に関する構造計画，設備計画，計画原論を修得する。 敷地図を作成する。
		7週	中間確認	90分間で製図を模写する。
		8週	図面作成①	エスキースを作成する。
	4thQ	9週	図面作成②	エスキースを修正する。
		10週	図面作成③	ポスターを作成する。
		11週	図面作成④	ポスターを修正する。
		12週	プレゼン作成①	プレゼンテーション図面を作成する。
		13週	プレゼン作成②，課題提出	プレゼンテーション図面を作成する。
		14週	3分間プレゼンテーション①	作品を発表する。 質疑応答に対応する。
		15週	期末試験	90分間で製図を模写する。
		16週	3分間プレゼンテーション②	作品を発表する。 質疑応答に対応する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	測量	区域の大小、順序、方法、目的および法律による分類について、説明できる。	5	
				測量体系(国家基準点等)を説明できる。	5	
				巻尺による測量で生じる誤差を説明でき、測量結果から計算ができる。	5	
			材料	コンクリートの長所、短所について、説明できる。	5	
				各種コンクリートの特徴、用途について、説明できる。	5	
			製図	線と文字の種類を説明できる。	4	前1
				平面図形と投影図の描き方について、説明できる。	4	前4
				CADソフトウェアの機能を説明できる。	4	前9,後9
				図形要素の作成と修正について、説明できる。	4	前9,後9
				画層の管理を説明できる。	4	前9,後9
				図の配置、尺度、表題欄、寸法と寸法線の規約について、説明できる。	4	前4,後12
				与えられた条件を基に設計計算ができる。	4	前13,後12
				設計した物をCADソフトで描くことができる。	4	前13,後12

評価割合

	課題	発表	試験	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	60	20	20	100
分野横断的能力	0	0	0	0